

AccessReading

令和8年8月21日(金)@令和8年度音声教材普及推進会議
東京大学先端科学技術研究センター社会包摂システム分野
https://accessreading.org/

AccessReadingが取り扱っている音声教材

- **小学校6年生、中学校、高等学校の検定教科書**
  - 全教科対応（地図、書写除く）
- 高等学校は、農業、工業、商業、水産などの**専門学科の検定教科書**も申込可
- 小学1～5年生には、利用しやすい他団体をご案内をしています
  - 特別な理由がある方には提供を続けています
  - お気軽に事務局までお問い合わせください



現在製作済みではない教科書も、希望され次第音声教材を製作します！

音声教材製作済
教科書一覧▼
https://textbook-status.accessreading.org/?year=R08

AccessReadingが提供している音声教材

- iPad、Windows、Chromebook等に対応
- パソコンやタブレット端末の音声読み上げ機能を使用
- 音声教材のデータ形式は2種類
  - お手持ちのパソコンやタブレット端末、ソフト・アプリに合わせてデータ形式を選んでください

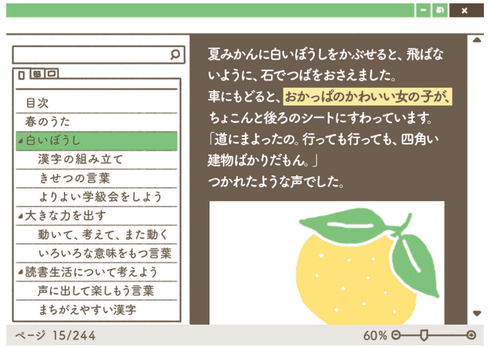


AccessReadingが提供している音声教材

●AccessReadingが提供している2種類の電子データ形式

①<u>DOCX形式</u>

「Microsoft Word」や「Googleドキュメント」で使用



②<u>EPUB形式</u>

iPadの「ブック」

Chromebook、Androidの「Google Play ブックス」など

EPUBリーダーアプリで使用

*「ブック」「Google Play ブックス」は標準搭載アプリ



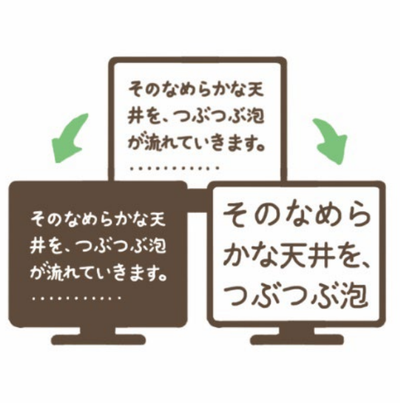
AccessReadingの音声教材でできること

音声読み上げ
文字の拡大
背景色の変更

ハイライト機能
辞書機能
文字検索

見出しジャンプ
メモ機能
しおり…等々





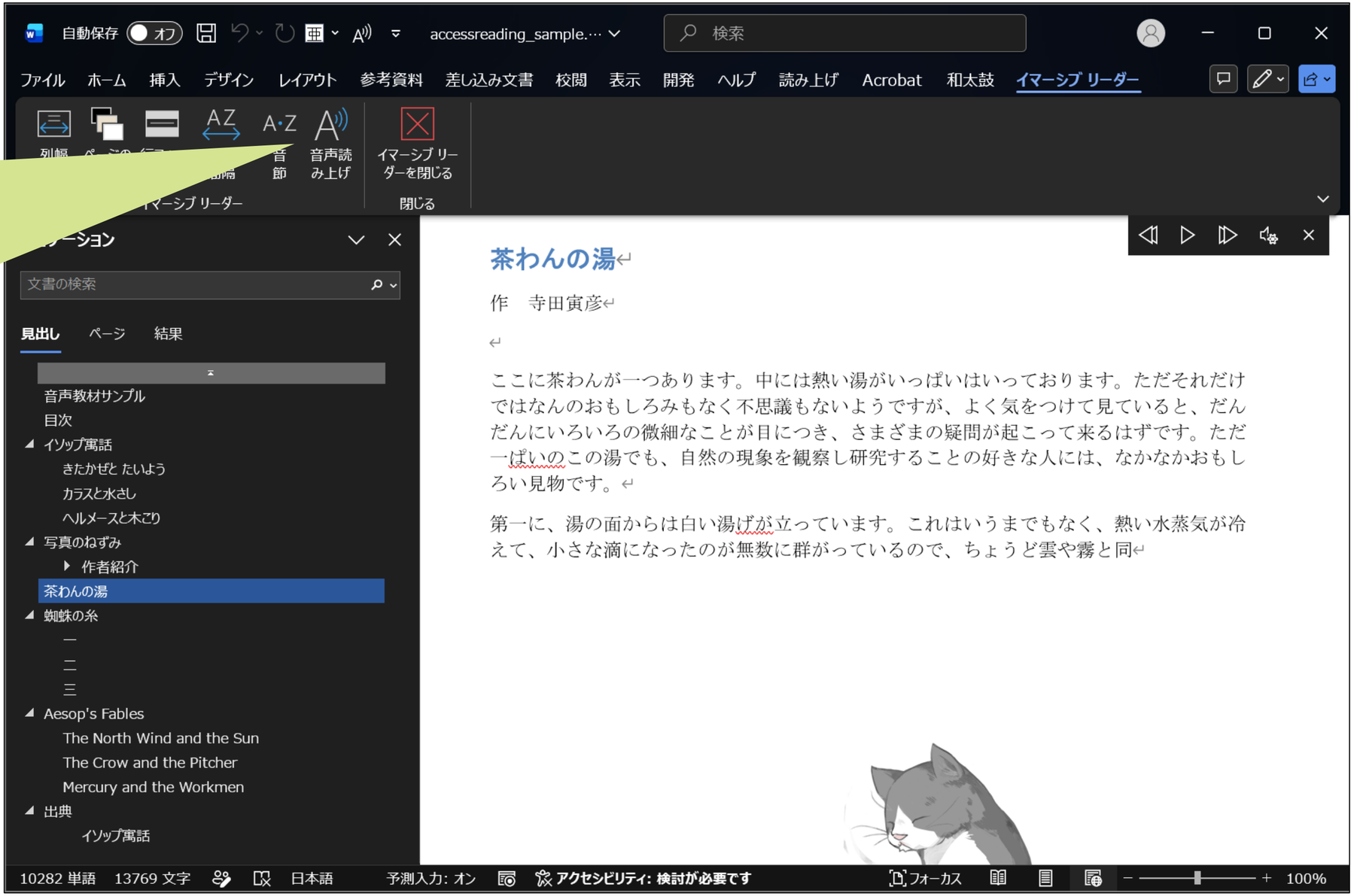
これらの機能は、機器に元々備わっている機能を使って
活用することができます

DOCX形式を閲覧している例
Microsoft OfficeのWordを仕様

「表示」タブを選び、
「イマーシブリーダー」を開く。
「音声読み上げ」で読み上げる。

イマーシブリーダーでは、
行間を広げたり、
読んでいる行を強調表示したり、
ページの色を変えたり、
見え方の調整もできます！

Wordの使い方をもっと
学ぶための動画▼
https://youtu.be/2dbyflxL2Z4



EPUB形式を閲覧している例
iPad +「ブック」アプリを使用

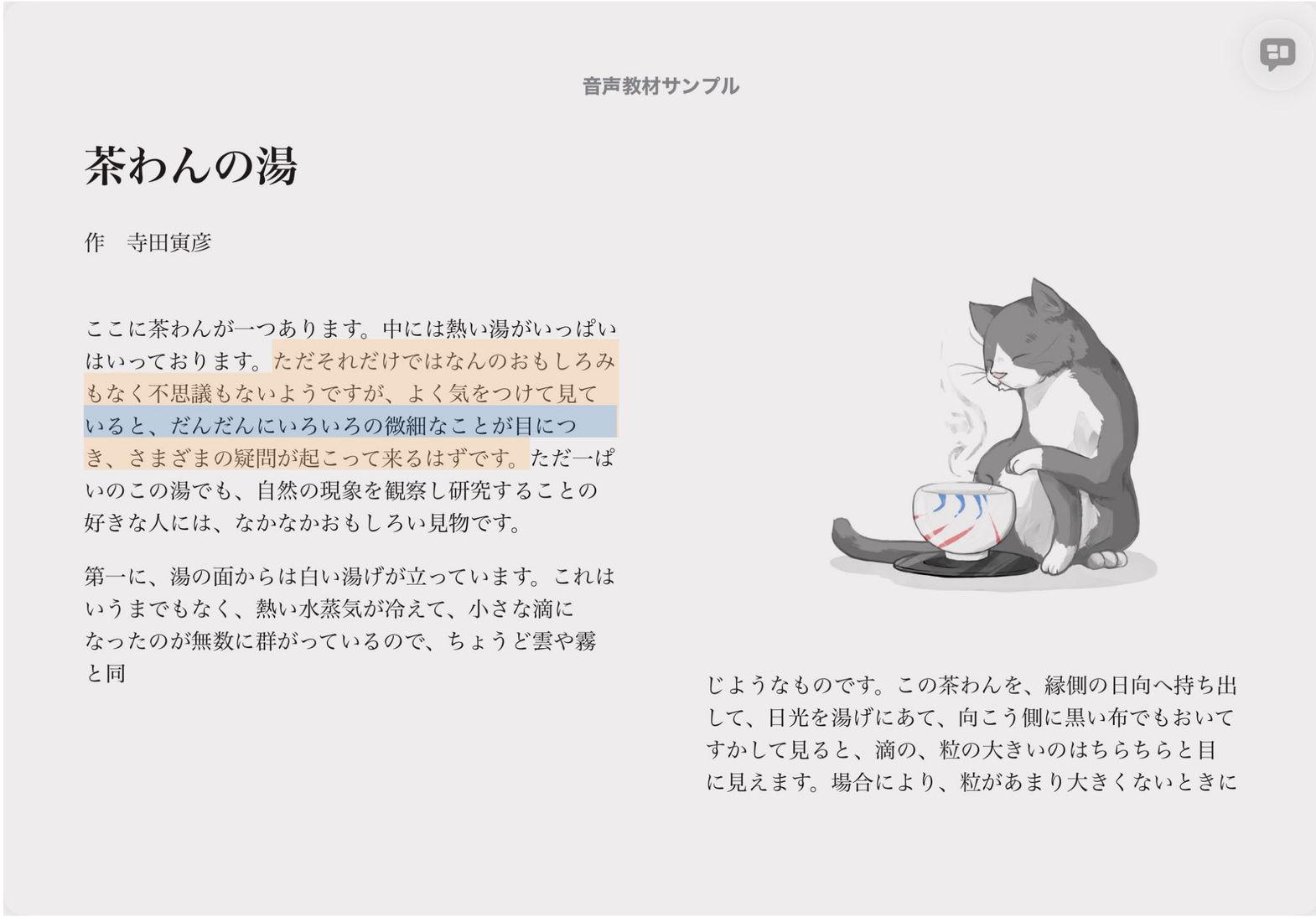
iPadで読み上げさせるなら、
「設定」の「アクセシビリティ」で
「リーダーと読み上げ」を開く。

以下をすべてオン！

- 画面の読み上げ
- 選択項目の読み上げ

※「強調表示」もオン！

iPadの使い方をもっと
学ぶための動画▼
https://youtu.be/FG-gfIuLZYM



AccessReadingの音声教材の特徴

- 操作や機能の自由度が高いため、自分の学習方法に合わせたカスタマイズがしやすい
- 録音データは入っていないため、データサイズは軽め
- 同じ方法でインターネットや他の文書を読んだり、テスト受験もできる

- 利用はオフライン環境でも可
- 機器に備わっている機能で読み上げをするので、読み間違い・読み飛ばしが生じる
  - 修正は可能
  - 漢字の読み学習として使える

音声教材は併用できます！

音声教材の活用方法

- 高等学校では特に「**教員の自作教材**」が増えていきます。
- 多くの自作教材は、教科書をもとに作られています。
- 音声教材で、**教科書へのアクセスを保障**しましょう！

予習・復習で本文を聞く

慣れれば
3-4倍速でも
聞けるように！



Wordをノートテイキングに使う

線を引いたり、
コメント付けたり、
色分けしたり



教科書の内容の検索

穴埋め問題の
解答を探したり、

ページ検索して
そのページへ
ジャンプしたり

二酸化炭素

AccessReadingの
先輩ユーザーを参考に！

小学6年生から高校生までの
音声教材の活用事例を
掲載しています。

活用事例▼
https://accessreading.org/ar/utilization/utilization.html

AccessReadingは中高生にオススメ

- **音声教材以外では、アクセシビリティ機能を使って読むことが基本**になります。
  - 一般書籍、副教材、教員が作ったプリント資料、試験問題やドリル、ウェブサイトの文字など。
  - 読み間違いがないように工夫した朗読音声や電子データを大学や教員が作ってくれることはほとんどありません。
  - 高校以降の学びでは、印刷物の文字をテキストデータに変換したものが提供されるケースが多いです。
- AccessReadingの音声教材なら機器に標準搭載の**アクセシビリティ機能を使った学びのスタイルを身につける**ことができます。
- 自分が読みたい、知りたいと思った書籍や情報に触れられる機会が広がります。

参考：旧音声教材情報提供サイト　音声教材を選ぶポイント
近藤武夫（東大先端研／AccessReadingディレクター）コラム ▶
https://accessreading.org/aem/what_kind_aem.html#column

AccessReadingへ登録申請する①

1. 登録申請に必要な情報を確認します。
   - AccessReadingのホームページの「登録・申請」ボタン、または「音声教材お申込みのご案内」バナーを押します。
   - 「登録申請システムの入力項目の確認」で、回答収集シートをダウンロードします。





登録申請のご案内▼
https://accessreading.org/ar/registration.html

AccessReadingへ登録申請する②

2. **申請者**を決めます。
   - 個人申請：本人または保護者など。
   - 学校・団体等申請：学校、教育委員会、医療機関、支援機関など。

3. 学校・団体等の場合は、**データ管理責任者**を決めます。
   - データ管理責任者は、音声教材が流出・漏洩しないよう、誰のどの端末にダウンロードするか等を管理します。
   - 申請者とデータの管理責任者は、同じ人でも、別の人でも大丈夫です。
   - 個人で申請する場合、データ管理責任者は保護者になります。

AccessReadingへ登録申請する③

4. 音声教材を利用する適格性（読み困難があること）を判断してくれる人を探します。

- **医療機関からの診断書や所見、アセスメント結果を提出する必要はありません。**
- 読みの困難さを評価するチェック項目：
  - 21項目の**どれか1つにでも**チェックが付けば申請できます。
  - 読みの困難さは本人や保護者ではなく、**学校等**に評価を依頼しましょう。



学校等とは？
- 特別支援教育コーディネーターの先生、通級や特別支援学級の先生、特別支援学校の先生、スクールカウンセラー、巡回相談員など。
- （学校以外）医師や言語聴覚士、心理士など。

- 過去の診断、意見書などを利用して、申請できる場合もあります。
- 誰に相談したら良いか分からない場合は、事務局までお知らせください。

お問い合わせ▼
https://accessreading.org/contact.html

読みの困難さチェックリスト

01.読み誤りがある（不正確な読みをする）

02.逐次読みになってしまう

（文字を一つ一つ拾って読んでしまう）

03.勝手読みをしてしまう

（字を飛ばしたり足したりして、間違った読み方をしてしまう）

04.特殊音節（きゃ・ぎゃ等）を読むのが苦手

05.ひらがなを読むことが苦手

06.カタカナを読むことが苦手

07.漢字を読むことが苦手

08.英語を読むことが苦手

09.単語の切れ目が分かりづらい

10.小さな文字を読むことが苦手

11.読むことに時間がかかる

12.文章を集中して読むことが苦手

13.文章の内容を理解することが苦手

14.文章を読むと、他の人より疲れてしまう

15.ページめくり、抑え等、紙の教科書で必要な動作が苦手

16.視力が悪い

（差し支えなければ矯正後視力を記入：質問項目25）

17.視野が狭い・視野の一部が見えにくい

18.まぶしく感じる

19.薄暗くなると見えにくい

20.色の区別が難しい

21.目が揺れてしまって見えにくい



AccessReadingへ登録申請する④

5. 登録申請に必要な情報を集めます。
   - 教育委員会は学校と、学校は保護者等と、回答収集シートを共有するとスムーズです。
6. 登録申請システムにログインします。
   - AccessReadingご利用のステップの最後にある、「登録申請システムのログインページに移動する」を押します。
   - Microsoft/Google/LINEアカウントでログインできます。
   - メールアドレスでアカウントを新規作成し、ログインすることもできます。



学校・団体等が申請する場合：

申請者個人ではなく、**学校/団体等で教職員共有の**
Microsoft/Google/LINEアカウントやメールアドレス
でのログインがおすすめです。

現在の申請者が異動しても、アカウントの引き継ぎが容易になります！

登録申請システム
ログインページ▼
https://application.accessreading.org/

AccessReadingへ登録申請する⑤

7. 登録申請システムで「新規登録申請を行う」を押します。

- 申請者の種別（個人申請/学校・団体等申請）を選択します。
- 申請者の情報を入力する。

  後から変更できます。



回答収集シートの情報を転記します！

- 児童生徒を登録します。

  一度に複数名を登録できます。

  児童生徒は後から追加できます。

- 児童生徒ごとに、音声教材として提供希望の教科書を登録します。

  教科書は、児童生徒の登録後にもできます。



教科書の登録について

- 児童生徒の**お手元にあり、学校で使用されている**教科書を申請できます。
- 文部科学省の教科書目録に載っていない、**副教材や参考書は提供できません**。

AccessReadingへ登録申請する⑥

8. 事務局に入力内容を送信します。

9. 事務局からの承認を待ちます。

- 承認されると、「【AccessReading】登録申請が承認されました」メールが届きます。
- 承認後に、「【AccessReading】登録申請確認書がダウンロード可能になりました」メールが届きます。
  登録申請確認書はダウンロードし、申請者が大切に保管してください。



登録申請確認書の活用

中学校から高等学校へ進学する際、登録申請確認書を進学先と共有することで、
進学先が登録申請に必要な情報を集めやすくなります！

- 申請が差し戻された場合、確認事項や修正点について事務局からメッセージが届きます。
  内容をご確認いただき、ご対応をお願いします。

AccessReadingの音声教材をダウンロードする

1. マイブックスにログインします。
   - AccessReadingのホームページ右上の「マイブックス」、または「音声教材ダウンロードのご案内」バナーを押します。
   - マイブックスのご案内ページで「マイブックスにログインする」を押します。
   - マイブックスは、**申請者のアカウントで**ログインします。
2. 音声教材をダウンロードします。
   - ログインすると事務局に申請し、承認された教科書の一覧が見られます。
   - すでに製作済みの音声教材にはダウンロードボタンが表示されています。
     製作中の音声教材は「—」が表示されています。
   - ダウンロードボタンを押し、端末にダウンロードします。



マイブックス
のご案内▼
https://application.accessreading.org/

学校・団体等は、申請者が**児童生徒アカウント**を発行すると、
児童生徒本人がマイブックスから音声教材をダウンロードできます！

AccessReading

参考資料



各機器での使い方動画のご紹介（YouTubeで公開中）

必見！

うまく「読む」ということ
https://youtu.be/c2FE2P5ol5A

iPad
https://youtu.be/FG-gfIuLZYM

Windows
https://youtu.be/2dbyflxL2Z4

Chromebook
https://youtu.be/0-SrzZpA5Jo

文章にルビを振る

- AccessReadingのウェブサイトで「文章にルビを振る」ページを公開中！
  - コピー＆ペーストしたテキストに含まれた漢字に、学年を指定してルビを振ったり、わかち書きできるページです。
  - **5000文字程度まで一度に自動でルビ振り**できます。
  - 自動なので、ルビの振り間違いにご注意ください。
- Windows版Microsoft Wordにルビつき文字をコピーして貼り付けることができます。

「文章にルビを振る」ページ▼
https://accessreading.org/furigana/

「文章にルビを振る」動画▼
https://youtube.com/shorts/9PZPlBDUjm8

体験講座・出張研修会／個別相談対応

●学校内での活用方法を知りたい！
●使用方法を具体的に知りたい！
●児童生徒に応じた学び方が知りたい！

…というご要望を受けて…

- スタッフが目的に応じた体験講座・研修会を現地開催またはZoomによるオンラインで実施しています。
- 個別相談にも応じています。
- 詳細はAccessReading事務局までお問い合わせください。

主な出張研修先：
東京、神奈川、千葉
大阪、福井、長崎

主な出張研修先実績：
特別支援教育センター
教育相談センター
特別支援教育研究部会
NPO発達支援機関
国立大学、専門学校
通信制高等学校
親の会など

研修対象者：
児童生徒、保護者、教員
言語聴覚士等の専門家

AccessReading



ご視聴ありがとうございました。

